

Orockey

小祿高等学校 R5 4/12

校長便り VOL. 1

発行人：校長 名幸 哲

入学おめでとう&進級おめでとう

去った4月7日（金）、本校体育館において、始業式と入学式が行われました。今年は久しぶりに制限のない形での式となり、ごく普通に体育館で行えたことに、心から幸せを感じています。みなさんの顔を直にみながら、話ができるということがどれだけ大切なのかを身に染みて感じている今日この頃です。さあ！新学期 新鮮な気持ちで決意を新たに☆



清らかな心と凜とした態度で未来の夢を語れ！

小祿高校のみなさんの多くは部活動に加入しています。そして、挨拶をよくしてくれます。でも、それが本当に心のこもった挨拶となっているのでしょうか。「部活の顧問の先生の指導だから」とか「やらなければならないから」とかそういう気持ちだといつかボロがでてしまいます。それではどうすれば良いのか？それは皆さんに「清らかな心と凜とした態度」を持って挨拶をして欲しいという事です。物事に素直に感動する心、困った人を助けたいと思う心、辛い人の気持ちを分かってあげられる心、そして自分を律し、小祿高校の一員としての

「pride」を持つ、そのような事をひっくるめて私は「清らかな心と凜とした態度」と言っています。そんな気持ちで挨拶をして欲しいのです。みなさんがそういう気持ちで挨拶してくれれば、きっと、小祿高校は誰もが認める本当の意味での「挨拶」のできる素晴らしい学校になれると思います。



自分の進路はどうしてハードル下げる？

数多くの強豪な部活動を有する我、小祿高校ですが、自分のこととなると、どうしてもハードルを低めに設定してしまう傾向があります。全国をめざしているチームが決勝戦で簡単にあきらめますか？「乗り越えられるの者にしか壁はこない」ものなのです。それを乗り越えた者にしか見えない「景色」があるものなのです。エベレスト山の頂上に上った者にしか見ることができない景色があるように、壁が高ければ高いほど、それを乗り越えた向こう側に見える「景色」はそれはもう格別なものに違いありません。自分の進路もハードル下げることなく最後まであきらめないで欲しいと思います☺

